

令和3年度南浜中学校教育ビジョン

教育関係法規
学習指導要領
新潟市教育ビジョン
新潟市学校教育の重点等

教育目標

深く考え 心豊かに 実践する生徒

目指す資質・能力

- ・生きて働く「知識及び技能」
- ・あらゆる状況に対応できる「思考力・判断力・表現力」
- ・学びを生かそうとする「学びに向かう力・人間性」

当校の課題

- 家庭学習習慣が十分に身に付いていない
- 時間管理が不十分で、スマホやゲームの弊害が見られる
- 生徒数が減少傾向にある
- 人間関係能力が弱く、対人関係に不安定さがある
- 向上心、主体性、自己表現力に課題がある
- 社会性が低く、自己中心的な考え方や行動がある
- 指導上特別な配慮や支援が必要な生徒がおり、その対応が必要である
- 地域の高齢化、空き家等の増加による社会問題の解決

基本姿勢

アップグレードプロジェクト

～南浜の教育レベルを上げる～

- 3C Challenge, Change, Comfort
- 3T Technology Tradition Thrive
- 夢・未来・南浜プロジェクト
- Glocal School for SDGs
- 学校運営協議会設立準備
- 持ち味を生かし、個性を認め合い、一人一人が輝く全員主役の学校

重点目標（目指す生徒像）

これからの社会をよりよく生きぬく生徒

- 自ら課題を設定し、課題解決に向けて、主体的に行動する
- 自他の違いを認め合い、他を尊重しつつかわり合い、合意形成する
- 社会の変化に対応し、柔軟な発想と豊かな表現で未来を構想する
- 世界的視野で考え地域での活動を通して、地域貢献や社会貢献する

GIGA

スクール

ICTタスクフォース
南中GIGAビジョン

カリキュラム
マネジメント

単元配列表を活用した
教科横断的な学習
UGPとリンクした
教職員人事評価
PDCAサイクル改善

主体的・対話的で深い学び

<UGP組織目標>

○振り返りを核に、ICTを活用した授業改革により学力の向上を図る

- ・振り返りを充実させる課題設定、ICT活用による振り返りの質の向上
- ・単元のまとまりを意識した振り返りの振り返りによる学力の向上
- ・振り返りをもとに、主体的に家庭学習に接続するシンカタイムの有効活用
- ・目指す資質・能力を育成する、ICT、思考ツールの活用等、積極的な「しかけ」による、主体的・対話的で深い学びへの授業改革
- ・主体的で対話的な深い学び実現と、それに対応する3観点の評価の妥当性の検討
- ・総合的な学習の時間を中心とした、探究活動の質の向上を目指す、教科横断的な学習

<評価項目>

- ①ロイロノートなどを活用した振り返りをしながら授業を重ねていくことで、考えが深まった（生徒アンケート）
- ②「振り返りカード」や「思考ツール」を用いた授業に取り組み、振り返りの仕掛けを工夫して振り返りの質を高めることができた（教職員アンケート）

<評価基準>

- ①肯定的評価が、A 80%以上、B 50%以上、C 50%未満
- ② A 70%以上、B 70%未満60%以上、C 60%未満

校種間連携

- 3年間を見通した小中連携事業（南教研）
- 「主体的に学習を深め、地域に愛着を持ち貢献する子ども」
- 学生との協働による人材育成支援事業、町づくり事業、タッグパートナー

新潟医療福祉大
北区役所

自律性と社会性

<UGP組織目標>

○良好なコミュニケーションによる主体的な活動で、集団の質の向上を図る

- ・あいさつ、コミュニケーション能力、合意形成能力の向上によるより良い集団づくり
- ・規範意識とセルフマネジメント力を高めることによる自律性の育成
- ・良好なコミュニケーション能力や対人関係能力を育成するための、SST、SEGの計画的実践
- ・特別活動を核に、話し合いグラドルールやKPT法を活用した、自主的活動の推進による自浄作用の向上
- ・学習におけるアウトプットの訓練による、正しい自己表現の向上

<評価項目>

- ①自ら進んで挨拶をすることができる（生徒アンケート）
- ②普段の生活から、三点固定を意識して生活している（生徒アンケート）
- ③生徒同士のコミュニケーションを促進する指導を継続的に行った（教職員アンケート）

<評価基準>

- ①、②ともに、A 80%以上、B どちらかが80%以上、C 80%未満
- ③ A 80%以上、B 50~80%、C 50%未満

共生教育・UDL

<UGPの方向性>

○共通理解とICT活用で、一人一人のニーズに合わせた合理的配慮の提供を図る

- ・生徒一人一人の特性把握と、特性に応じた合理的配慮のすべての生徒に対する提供
- ・合理的配慮に関する、職員間、学校と家庭間の共通理解の徹底
- ・南浜中スタンダード10を継続と改善、UDLの意識化と実践
- ・合理的配慮におけるICT活用、活用方法研究の推進
- ・SDGsを視点に、世界的視野で考え、誰一人取り残さない持続可能な教育の推進

<評価項目>

- ①マスク着用でも配慮した話し方や聞き方ができた（生徒アンケート）
- ②生徒情報交換会での内容を理解し、その情報をもとに授業や支援の場面で合理的配慮が適切にできた（教職員アンケート）

<評価基準>

- ①、②ともに、A 80%以上、B どちらかが80%以上、C 80%未満

健康体力の向上・基本的生活習慣の確立

UGPの方向性：三点固定を徹底し、自らの手で生活習慣の改善を図る

- ・グリーンノート、タブレットを活用した、三点固定の徹底
- ・時間管理の意識を高めることによるメディアコントロール
- ・ネット・スマホ・SNSに関するルール作りにおける生徒の主体的な取組
- ・保護者、地域を巻き込んだルール作り
- ・体力の向上を目指した、授業、部活動その他の活動の工夫と充実

地域連携～夢・未来・南浜プロジェクト～

UGPの方向性：コミュニティスクール実施に向けた、地域融合の構築を図る

- ・単元配列表に位置づけ、地域連携活動の整理と意味づけによる教科横断的な学習
- ・持続可能でWin-Winの地域連携のCSへの接続
- ・学びの拠点作りと生徒の地域貢献を核にした、地域融合システムの構築
- ・キャリア教育の視点から、外部の人材を活用した多様な教育活動の展開
- ・コロナ禍での活動の工夫と広報活動、情報発信の充実・改善

社会に開かれた教育課程

働き方改革：時間外勤務の縮減、年休取得促進、部活動ガイドラインの遵守、地域部活動の推進